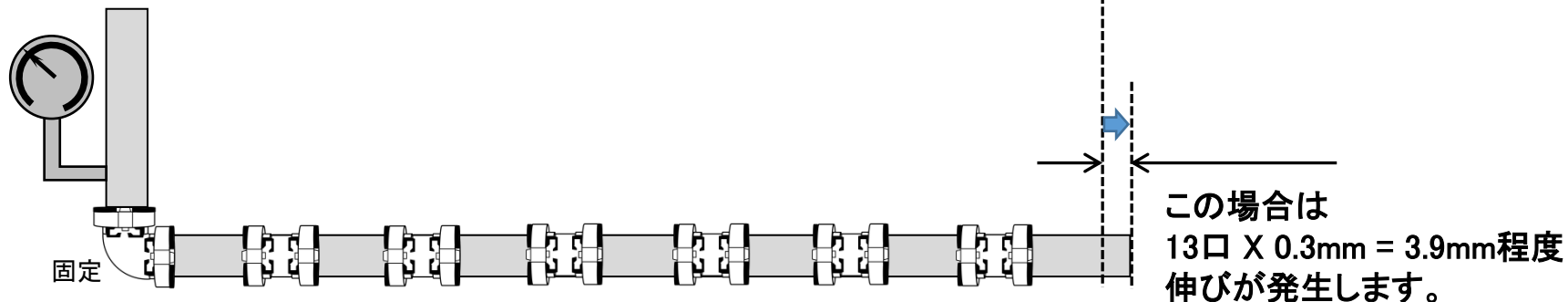
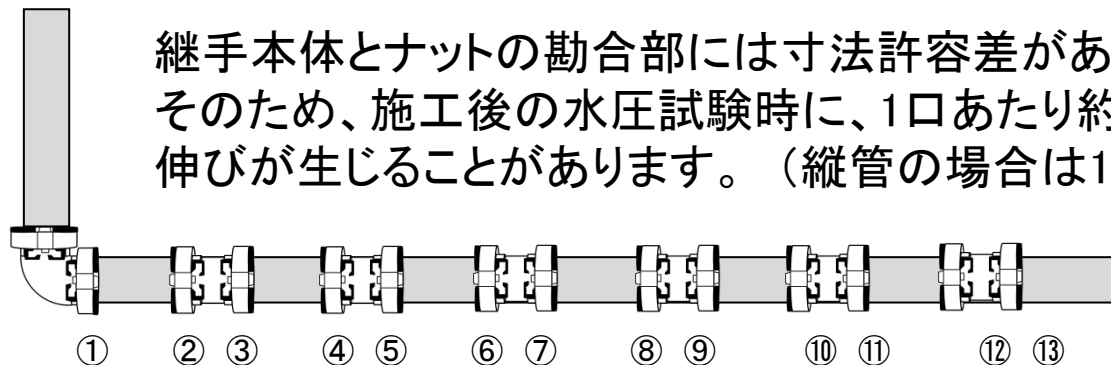
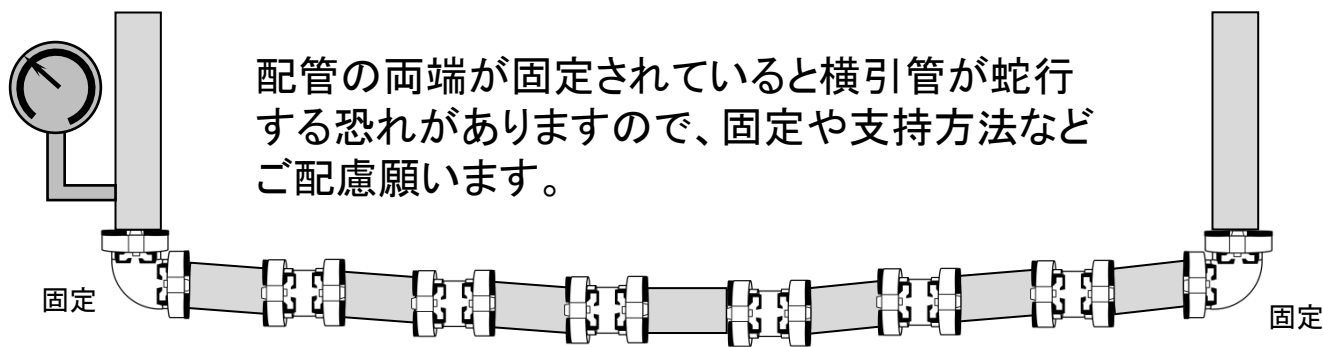


## 水圧による配管の伸びへの対応

継手本体とナットの勤合部には寸法許容差があります  
そのため、施工後の水圧試験時に、1口あたり約0.3mm程度の伸びが生じることがあります。（縦管の場合は1口あたり約0.4mm）



配管の両端が固定されていると横引管が蛇行する恐れがありますので、固定や支持方法などご配慮願います。



# 水圧による配管の伸びへの対応

